

令和4年度 事業報告書

(自) 令和4年 4月 1日

(至) 令和5年 3月 31日

1. 事業の概況

令和4年度になっても新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束は、願いむなしく叶いませんでしたが、国や自治体の方針に則り、ワクチン接種と共に日常を取り戻す努力が見られました。

当会においても、事業を計画通りに推進するべく、またここ2年の中止や延期となった活動を取り返すべく、情勢を丁寧に見極めながら事業実施に努めました。

golferからの緑化協力金による公立の小中学校や病院、福祉施設、社会公共施設、また国立公園や河川流域などの健全な緑化推進、環境保全や改善、美化等は、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団の確かなご協力を得つつ、推進いたしました。

GGG 国立・国定公園支援事業は、環境省と連携し実施いたしました。多くのボランティアの方々が一堂に会しての活動は難しい状況でしたが、いずれ多くの方々が公園を訪れ賑わうことを想定し、登山道や遊歩道の整備・補修、道標や看板の設置・補修等、安全や至便性を高めるための活動をしました。

被災地復興支援事業の「golfer桜の森」と「golfer未来の森」は、丁寧な保全活動により順調に成長し、地域の方々にとても喜ばれています。また、それぞれの森での「森林教室」は、取り巻く自分たちの環境を知り、森の役割、大切さを学び、自ら育て継承するという意識の醸成にも繋がっていると、大変な好評を得ています。新たな地域での「golfer桜の森」の着手には時間がかかりましたが、準備が整い「golfer桜の森 七ヶ浜」開所式・第1回植樹祭を10月に開催することができました。

東日本大震災、台風などで壊滅的な被害を受けた野田村の「ハマナス」植栽事業は、コロナ禍ながら、4年かけて2,000本を植栽しました。今後は、多くの方々が憩い楽しめる美しい村のシンボルとして成長していくことを願って止みません。

二戸市の「漆」植栽事業は、ここ3年の困難を吹き飛ばすかのような植樹祭の開催となりました。さまざまな地域、団体、学校から250名が集い、賑やかに2,200本を植栽いたしました。これからは、今まで植栽した4,940本のウルシとともに、丁寧な保育整備活動を推進していきます。

さまざまな制限が掛かった令和4年度ではありましたが、ほとんどの事業を推進、実施できましたことは、望外の喜びでした。全国のgolfer、ゴルフ場、会員の皆さまをはじめ、関連団体の方々のご理解、ご支援、ご協力のお陰に他なりません。心より感謝を申し上げ、令和5年度へ歩みを進めます。

2. 会員の維持・拡大

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、会員の入会を促進するのは厳しい状況でしたが、当会の趣旨にご賛同いただき入会されたゴルファー、企業がありました。

不安定な情勢ながら、ゴルフを楽しみホールインワン・アルバトロスを達成された119名の方々からご寄付をいただきました。

3. 事業活動

(1) 地方緑化事業

1. 緑化協力金の配分

令和4年9月（第91回配分：令和4年1月～令和4年6月緑化協力金分）に地方緑化事業費として11.1百万円を〔表1〕の各団体に配分しました。

〔表1〕 ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 11,130 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設など 社会公共施設への植樹 8,321 千円
②国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 22 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川および その近傍における植樹等 2,787 千円

また、令和5年3月（第92回配分：令和4年7月～12月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として13.1百万円を〔表2〕の各団体に配分しました。

〔表2〕 ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 13,071 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設など 社会公共施設への植樹 10,228 千円
②国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 101 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川および その近傍における植樹等 2,742 千円

第91回及び第92回の配分合計金額（令和4年1月～12月 緑化協力金分）は、約24.2百万円になりました。

2. 地方緑化事業の推進

配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、緑化推進・環境保全や改善のための植樹緑化事業を推進していただきました。また、社会環境の変化に応じ、植栽樹木のメンテナンスや除伐等も事業に含めるようお願いしました。

事業報告については、第 91 回配分は令和 5 年 2 月迄、第 92 回配分は令和 5 年 8 月迄を提出期限としています。

(2) 全国緑化事業

例年、環境省、林野庁、都道府県等が主催する緑化・環境関連行事や民間の関連事業に協力や協賛をしていますが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染対策を万全にし、規模を縮小したり、人数を制限したりと、運営に工夫を凝らし開催されました。

1. 緑化貢献の顕彰

「エージシュート大賞」と「緑化貢献大賞」については大変好評を得ています。会員ゴルフ場を通じて特製バッグ札を授与し表彰しています。「エージシュート大賞」については 10 名の方が達成されました。年間最多プレーの方々を表彰する「緑化貢献大賞」は、20 名でした。

2. GGG 国立・国定公園支援事業

環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や協力のもと、自然環境の保全を目的としたボランティア団体の健全な活動を支援しました。助成対象事業を明確にし、環境省地方環境事務所、または都道府県から推薦が得られた団体の申請を受け、選考委員会で厳正な審査。そして 13 団体を選定、支援しました。

多くのボランティアを集っての活動は難しい状況でしたが、収束後を見据え、遊歩道や登山道の整備・補修、仮設トイレや案内板、道標などの設置等、公園を訪れる方々の安全や至便性を高めるための活動に取り組まれていました。

事務局を一般財団法人自然公園財団にお願いいたしました。

(3) 植樹緑化事業

被災地復興支援、意義ある緑化推進、環境保全を、また次代を担う子どもたちの学校や福祉施設、公園などの公共施設をとりまく緑化環境の改善を念頭に、海岸防災林活動や森林教室、親子対象のイベント等、開催を推進いたしました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束が見られない中であっても、感染対策を万全にし、日程調整などを測り、工夫を凝らしながら実施いたしました。

1. 被災地復興支援事業

復興のシンボルである憩いの桜公園づくりは、6 か所目として、宮城県は七ヶ浜町で「golfer桜の森 七ヶ浜」を造成しました。宮城県県民の森「golfer桜の森」では保全活動も滞りなく行い、散策に訪れる方々や森林教室などの貴重なフィールドになっています。海岸防災林の再生事業については、維持管理に必要な保育作業を丁寧に実施しています。

(1) 宮城県県民の森「ゴルファー桜の森」 (宮城県宮城郡利府町神谷沢)

a. 保全事業 (令和4年4月-9月)

平成30年10月と平成31年4月に計300本植樹し造成した「ゴルファー桜の森」が健全に育成し、より多くの方の憩いのフィールドになるように、捕植や保育管理を続けながら整備作業をしています。施肥作業、刈払整備、つる切り、点検など、4月から9月にかけて5回に渡り、のべ33名で実施いたしました。ユリの根を掘るイノシシが原因で苗木の枯損や表土の攪乱が続いています。春先のスズメバチ捕殺トラップ設置の効果か、スズメバチによる被害はありませんでした。また、ウサギ食害防止ネットが効いて、ウサギの食害もひとときわ少なくなりました。今後も植樹苗への取り付けを継続します。なお、11月21日(月)に開催した「ゴルファー桜の森 森林教室」の際、捕植作業を行いました。

植樹本数(本)	全枯損(本)	ウサギ食害(本)	上部枯損(本)	要捕植見込(本)
304	37	30	50	20
112(捕植)	14	13	18	
割合	約12.2%	約10.3%	約16.3%	全体38.9%

b. 森林教室 — 仙台市立六郷小学校3年生 (令和4年11月21日)

仙台市立六郷小学校3年生126名(引率教職員5名)が「ゴルファー桜の森 森林教室 仙台市立六郷小学校3年生 in 宮城県県民の森」に参加しました。本来は11月18日(金)に実施する予定でしたが、学年内で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が流行したため、日程を調整し、11月21日(月)に開催しました。当日はあいにくの空模様でしたので、予定を大幅に変更し『森づくり活動』と『いろいろ挑戦活動』のみ実施しました。

『森づくり活動』では、オオシマザクラの捕植と植えた苗木の保育活動を中心に行いました。エリア内の遊歩道も2か所で延長しました。鋸や鋏等、これまで使ったことがない道具を用いての活動は児童も楽しかったようで、予定していた苗木は全て植え終わりました。

『いろいろ挑戦活動』は、当初の予定よりもコーナー数を増やし対応。「ゴルファー桜の森」の高低差を利用した崖のぼりコースは、混雑緩和も踏まえ複数のコースを用意しましたが、難易度がそれぞれ違うので運動が苦手な児童でも楽しんでいました。また、パターゴルフコースは落ち葉や芝生に苦戦しつつも、カップインした際には、大きな歓声が上がっていました。その他、木登り、スラックライン、スラックレール等、思いきり身体を動かせる活動を多く入れ、参加者全員が一緒にたくさん楽しめるように活動とスタッフを配置しました。先生方は、児童が学校にいる時と違う一面をたくさん発見できたと喜ばれ、とても有意義な森林教室になりました。

c. **クリーンあっぷプロジェクト 2022（協働事業）**（令和4年12月3日）

県内外の方々のシンボルとなる桜の名所へと、平成30年度、宮城県県民の森に「ゴルファー桜の森」を造成しました。今では保全活動を丁寧に進めながら未来を担う子どもたちに向け「森林教室」を開催し、貴重なフィールドになっています。それが、昨年、一昨年と比較すると不法投棄のゴミが5倍にも増え頭を悩ませていました。

そこで、宮城県と対策を協議し「クリーンあっぷプロジェクト2022」に協力いたしました。令和4年12月3日（土）、総勢47名（県民の森管理事務所職員、宮城県森林インストラクター協会事務局職員、同協会ボランティアスタッフ、他ボランティアの方々）で実施いたしました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るっているうえ、ほとんどが危険な場所での回収作業になるので、親子や新規参加のボランティアの募集は積極的には行わず、活動経験豊富なボランティアで行いました。

事前に点検、マーキングし、地図にも記しておいた40ヶ所の回収場所に、4班で4方向から同時に清掃作業をしながら、最終集積所の県民の森中央記念館に向かいました。回収したゴミは、次々にトラック3台で運搬。分別担当チームも配置し、ゴミを4種類に分別しました。タイヤ、便器、手洗い一式、車の備品等、大型ゴミのほか、大量の剪定ゴミや家庭ゴミ、カラスが散乱させたような細かいゴミ等を回収し続け、最終的にはトラック20台分にもなりました。寒い中での大変な活動ではありましたが、参加した職員、スタッフ、ボランティアの方々の終わった後の表情は、とても爽やかでした。

(2) 「**ゴルファー桜の森 七ヶ浜**」造成（宮城県七ヶ浜町花淵浜字表浜二）

a. **保育管理に関する協定書の締結**

平成25年度より被災地域において憩いの『桜公園』の造成を推進してまいりましたが、新たに、宮城県七ヶ浜町の表浜公園（7,998㎡）に造成します。地域の震災復興や地域緑化に寄与するとともに、人々が集い憩える桜の名所を目指します。また、地域の方々と取り組むことで、緑化活動の重要性や意義について考え行動するきっかけづくり、そして多くの方々とともに育樹活動に携わることで、貴重な緑地を自分たちのものとして末永く見守るシステムを築いていきます。さらには、成長していく桜公園、緑地、樹林帯の中で培われる「生物多様性」について学んだり、地域のレクリエーションを楽しんだりできるフィールドに育てていきます。

そこで、「ゴルファー桜の森 七ヶ浜」の適正な保育管理が円滑に実施されることを目的とし、昨年度（令和4年3月31日）、七ヶ浜町、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会、及び当会の3者による5ヵ年の『保育管理に関する協定書』を締結しました。

b. 造成地整備活動 — 仙台大学附属明成高等学校 1 年生 (令和 4 年 6 月 21 日)

秋の「ゴルファー桜の森 七ヶ浜」の開所式・植樹祭へ向けて、仙台大学附属明成高等学校スポーツ創志科 1 年生が、七ヶ浜町復興緑化活動の一環として造成地の整備・除草活動のため、6 月 21 日(火)、総勢 134 名(生徒 104 名/教職員 4 名/講師・スタッフ：宮城県森林インストラクター 30 名)が参集しました。万全な感染対策に理解と協力を得、2 班に、そして半日ずつに分かれての実施。参加した生徒たちは、集積活動、枯損木処理活動、植樹活動など一所懸命に取り組みました。土が固く、掘るのは大変な作業でしたが、高校生は見事に唐鍬やバールを使いこなし、逞しく掘り進んでいました。整備活動等を終えた後は、菖蒲田浜海水浴場でマイクロプラスチックゴミの清掃活動をし、表浜海岸ではビーチコーミングや植物観察、釣り研修、そしてスポーツ体験など、盛りだくさんの企画を楽しみました。

c. 開所式・第 1 回植樹祭 (令和 4 年 10 月 15 日)

暖かく、そよ風が心地よい青空のもと、「ゴルファー桜の森 七ヶ浜 開所式・第 1 回植樹祭」(共催・運営：特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会/後援：七ヶ浜町)を 10 月 15 日(土)に開催いたしました。

七ヶ浜町長をはじめ、町議会議員、教育委員会、子供会会長、PTA 会長、観光協会、職員の方々、地元企業、親子・一般ボランティアの方々、協会スタッフ・ボランティアなどを含め 84 名が集まりました。まさに、地元の期待の高さがうかがえる顔ぶれでした。

開所式典では、理事長による主催者挨拶、来賓からの祝辞、そしてモニュメント除幕式、記念植樹を行いました。その後、オオシマザクラ・ヤマハンノキ 160 本を全員で植樹しました。土の固さと埋まっている石に手間取り、時間がかかりましたが、参加者の愛犬も穴掘りに参加し、明るく和やかな植樹活動となりました。

午後は、親子参加者たちが、ネイチャークラフトやキックボード、キャスターボードを楽しみました。皆、終始夢中になって作品を作り、身体を動かしました。散策に訪れた地元の方々からは、整備された綺麗な公園とサクラの開花を心待ちにする感謝と歓迎の声も聞かれました。

d. 森林教室 — 富谷市立日吉台小学校 5 年生 (令和 4 年 11 月 7 日)

富谷市立日吉台小学校の 5 学年児童 97 名(引率教諭 5 名)と宮城県森林インストラクター協会の指導インストラクター及び運営スタッフ 28 名の総勢 130 名が、11 月 7 日(月)、「ゴルファー桜の森 七ヶ浜」に集いました。

朝から暖かい気候のなか、3 つの活動『森づくり活動』『海岸遊び』『ネイチャークラフトとキックボード・キャスターボード体験』を楽しみました。児童が多いため 12 班に分かれ、それぞれの活動をローテーションで実施。『森づくり

活動』では、「golfer桜の森 七ヶ浜」の集積整備作業やオオシマザクラやクロマツの植樹、そして表浜公園の枯損木処理活動をしました。地面が非常に固くクロマツや広葉樹を植えるための穴掘りに悪戦苦闘していましたが、鍬の使い方を習いながら丁寧に植樹しました。また、枯損木処理では、2～3mの高さがある枯木を班で協力して鋸で切り倒し、細かく刻んで集積していきました。『海岸遊び』では、防潮堤を越え、表浜海岸でビーチコーミングとマイクロプラスチックゴミの清掃活動です。マイクロプラスチックゴミは、レジンペレットや豆管を中心に回収。中には気に入った貝殻や流木を拾い、持ち帰る児童たちもいました。波は穏やかで海岸遊びも満喫。海浜植物・外来植物などの勉強をする機会にもなりました。

『ネイチャークラフト』は、8種類準備をし、特にアズマネザサを使った弓矢「あずまゆみさん」や厚紙を活用した竹とんぼ「PTA」といった飛び物系のクラフトが人気でした。また表浜公園の歩道を利用した『キックボード・キャスターボード体験』では、初めて体験する児童たちも夢中になって練習し、見る見るうちに上達していました。

児童はクタクタになりましたが、発見や驚き、そして感動の1日となりました。

e. 第2回植樹祭の開催 (令和5年3月26日)

令和5年3月26日(日)、「golfer桜の森 七ヶ浜 第2回植樹祭」の開催を案内したところ、親子や3つの団体を含め100名以上の参加希望を受け、丁寧に準備を進めました。ところが、2日前に終日大雨の予報が出てしまい、参加申込み団体の意向も考慮し、子どもたちの参加は断念いたしました。

当日はかなりの強い雨でしたが、木滑理事長を始め、七ヶ浜町建設課、地元の町議会議員の方々、ボランティアの方々など、39名の参加があり開催しました。ヤエザクラの記念植樹をし、簡単に開会式を済ませた後、ずぶ濡れで凍えながらもオオシマザクラ70本、ヤマハンノキ50本、ハマギク30本の植樹に注力いたしました。残りの70本のハマギクや10本のオオシマザクラなどは、次の植樹祭で、子どもたちに植えてもらう予定です。

f. 冬の保全事業 「七ヶ浜」・「七ヶ浜 菖蒲田浜」 (令和5年3月1日)

「golfer桜の森 七ヶ浜」及び平成29年11月に植栽した「golfer桜の森 七ヶ浜 (菖蒲田浜)」のサクラの保全作業を11名により実施いたしました。「golfer桜の森 七ヶ浜」では、サクラの全植栽木、約130本全てに、「菖蒲田浜」では31本全てに堆肥・施肥作業を実施しました。「golfer桜の森 七ヶ浜」は見事に活着しており、また「菖蒲田浜」のサクラは生育順調で、とてもきれいに咲いていました。

(3) 「ゴルファー未来の森」＜山元・仙台・北官林＞

海岸防災林の再生を目的とし、平成28年度から平成30年度にかけ、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ、抵抗性クロマツを植栽し「ゴルファー未来の森」を造成しました。現在は、健全な育成を目的とし、保全事業を推進しています。

a. 保全事業 (令和4年5月～9月)

5月1日から9月30日にかけて、生育調査、状況確認をし、雑草除去、除草、刈払整備作業をしました。生育良好につき、施肥作業は実施しませんでした。

＜山元＞ (宮城県亶理郡山元町 3,000 m²)

生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を2回に渡り12名で実施。昨年度捕植分は、順調に活着。苗木は雑草に負けない大きさ、太さに成長するも、残存緑地から侵入するクズがひどく、保育管理作業の継続が必要となります。

＜仙台＞ (宮城県仙台市荒浜田の神 2,000 m²)

生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を3回に渡り11名で実施。生育は良好ながら、他の植樹地と比較すると、生育はゆっくり。葉の色は薄く水はけが悪いものの成長を続けています。

＜北官林＞ (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m²)

生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を3回に渡り9名で実施。また、9月1日(木)に開催した仙台市立南材木町小学校の海岸防災林活動の際に、子どもたち54名にも手伝ってもらいました。順調に育ち雑草は少なめながら、西側の植樹地からクズが侵入し除草は必要です。

◇ 生育状況調査報告 (令和4年9月現在)

植栽年月	場 所	枯損数	生存率	生育状況	樹高最大
平成28年5月	山 元	1 / 506	99.8%	良 好	282 cm
平成29年3月	山 元	25 / 517	95.2%	良 好	270 cm
平成29年5月	仙 台	62 / 1000	94.0%	良 好	220 cm
平成30年3月	北官林	25 / 512	95.1%	良 好	222 cm
平成30年5月	山 元	121 / 526 捕植後良好	77.0%	南側のみ良 北側は悪い	174 cm

b. 海岸防災林活動 北官林 — 仙台市立六郷小学校3年生 (令和4年9月26日)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響もあり、屋外でのイベントや教室の開催要請が多く、人気は定着しています。

9月26日(月)には、仙台市立六郷小学校3年生134名が集まり「ゴルファー未来の森 北官林」の除草や施肥、保育活動を行いました。そして、自然観察、

植物観察をし、海岸ではマイクロプラスチックゴミ清掃やビーチコーミング活動に精を出しました。貞山堀では水生生物観察にカニ釣り体験と夢中になりました。特にクロベンケイガニやアシハラガニがたくさん釣れ、児童は心ゆくまで活動していました。

マスク着用、検温、こまめな消毒など感染対策をしつつ、多くの児童に対応するため、複数のプログラムを準備し 17 班に構成。活動場所を分散させて実施しました。引率教職員 5 名と特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会スタッフ 33 名が加わり、総勢 172 名にもなりました。まさに、たくさん笑顔が溢れた 1 日でした。

c. 冬の保全事業 < 山元・北官林 > (令和 5 年 2 月～3 月)
冬の保全事業を実施しました。

< 山元 > (宮城県亶理郡山元町 3,000 m²)
総勢 18 人で、枝打ち作業を実施。平成 28 年度分は全域約 500 本の全てを、平成 29 年度と 30 年度分については、クロマツが大きくなっている南側部分の約 50 本のみ枝打ち作業を実施しました。北側と南側の生育が極端に異なります。平成 30 年度植樹地の一部以外では生育順調です。来年度も枝打ち作業を行います。

< 北官林 > (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m²)
全エリアの比較的大きくなったクロマツのみ (約 470 本中 250 本)、8 名で枝打ち作業を実施しました。生育は順調です。来年度は、本数調整間伐が必要になるかもしれません。宮城県と協議を進めます。

(4) 野田村「ハマナス」植栽事業 (岩手県野田村十府ヶ浦公園)

東日本大震災、そして大きな台風などにより甚大な被害を受けた野田村が取り組んでいるコミュニティの再生、新たな村づくりの支援に取り組んできました。

野田村の花「ハマナス」を植栽し、心安らぐ豊かな地域づくりです。令和元年と令和 3 年に植樹した 1,300 株の苗は、しっかり根付き花や実をつけているものも見られるようになりました。

今年度に入っても、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束への願いは叶わず、クラスターの発生等を受け事業実施が困難でした。計画通り進まないながらも状況を見極めつつ、令和 4 年 11 月 13 日 (日)「令和 4 年度ハマナスいっぱいプロジェクト！」を開催いたしました。開催に当たっては、村民及び村内保育所、小中学生を中心に広報活動をし、当日は子ども連れ家族の参加で賑わいました。ハマナス 700 株を、三陸鉄道の線路と国道 45 号線から望めるエリアに総勢 36 名 (一般及び親子 26 名・スタッフ 10 名) で、植栽いたしました。

本事業をスタートした令和元年度より、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の対応に悩まされてきましたが、村の方々とともに、4 年かけて 2,000 本のハマナス

を植栽することができました。今後、定着し成長することで、野田村のシンボルとして、多くの方々が憩い楽しめる代表的な群生地となることを期待し、見守り続けてまいります。

2. 健全な緑化・環境教育支援事業

(1) 二戸市「漆うるわしの森」植栽・保全事業 (岩手県二戸市浄法寺町)

二戸市が取り組んでいる漆の植栽、漆職人育成事業等に賛同し、漆植栽・保全事業を令和元年度より二戸市漆産業課と連携し、推進しています。

a. 「漆うるわしの森」保全事業 (漆原地区・馬洗場地区) (令和4年6月-9月)

令和元年度、漆原地区に植栽した3,650本の苗木、そして令和3年度、馬洗場地区に植栽した1,290本の苗木が健全に成長するように、6月中旬から9月上旬にかけて、それぞれ2回に渡り下刈りを実施しました。自然災害や鳥獣による食害被害は確認されませんでした。定期的な観察し食害木や枯木があった際には、捕植を行っていきます。

b. 「漆うるわしの森」植栽事業 (馬洗場地区) (令和4年11月17日)

令和4年11月17日(木)には、新たに、浄法寺町馬洗場2.22haの市有林において「漆うるわしの森 植樹祭」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況も踏まえ、人数を制限して広報したところ、参加最多可能人数の250名(22団体)が集いました。〔浄法寺小学校4年-6年・浄法寺中学校1年-3年・北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議ボランティア・盛岡ターミナル株式会社・二戸ロータリークラブ・東日本電信電話株式会社・林野庁東北森林管理局岩手北部森林管理署・八戸市農林畜産課・久慈市林業水産課・浄安森林組合・浄法寺漆生産組合・二戸市地域おこし協力隊・日本うるし掻き技術保存会・一般ボランティア・他〕オープニングセレモニーでは、二戸市と当会による主催者挨拶、そして二戸市立浄法寺小学校、中学校の各生徒代表による活動宣言が行われました。その後、参加者を6つのグループに編成し、岩手県浄法寺漆生産組合員が植栽方法について説明をした後、小学生は3名、中学生は2名で1組となり植樹活動を開始。小中学生と同グループの大人は補助役を担い、計372本のウルシを植栽しました。かぶれが心配な生徒には、トチ(60本)を植えてもらい、全員一緒に植栽体験をすることができました。ぬかるんだ足元に曇り空というスタートでしたが、時間の経過とともに日も差し、和やかに元気あふれる植樹祭となりました。参加者は皆、来年の再会を約束し帰路に着きました。

植栽計画の残り1,828本は浄安森林組合に委託し12月中に作業を終え、計画通りウルシ2,200本の植栽を完了しました。今後は、保育整備活動を丁寧に進めてまいります。

(2) 緑のまなび事業

昭和 25 年（1950 年）以来、国土緑化運動の中心行事として開催されている全国植樹祭※、及び昭和 52 年（1977 年）より、継続して森を育てることの大切さを普及啓発するために開催されている全国育樹祭※それぞれの開催県内の学校教育環境向上のための支援をしています。学校の環境緑化、整備、改善を通じ、健全な環境づくりをすることで、未来を担う子どもたちの積極的な緑化活動へと導くきっかけといたします。また地域の方々の理解、協力を繋げます。

※毎年、全国植樹祭は春季、全国育樹祭は秋季に、公益社団法人国土緑化推進機構と開催県の共催により実施されています。

a. 大分県大野市立大野小学校

（大分県豊後大野市）

令和 4 年 11 月 13 日（日）、第 45 回全国育樹祭が開催される大分県において、開催機運の醸成を図り、学校教育環境の向上を目的とし、緑のまなび事業を実施しました。昨年度予定していたところ、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響を受け今年度に持ち越されましたが、大分県と公益社団法人国土緑化推進機構の協力を得、遂行することができました。お手入れ行事が行われる豊後大野市内の大野小学校（緑の少年団 157 名）において、敷地内のまなびの場の環境整備を行いました。

令和 4 年 5 月 14 日（土）－ 16 日（月）、校庭内で樹勢が衰退している古木 12 本（センダン、ソメイヨシノ、モミジ）周辺の土壌改良を行い、市のシンボル樹、ボタンザクラの植栽、そして校舎東斜面のビオトープ型緑花ブロックの侵入雑木の伐採や整理を行いました。5 月 16 日（月）には、樹木医の説明、指導を受けながら、みどりの少年団も作業に参加したことで、土や草木とふれあい、緑や自然について学ぶ、貴重な時間となりました。

令和 4 年 6 月 9 日（木）には記念式典が開催され、緑の少年団の更なる活躍を期待し、ユニフォームを贈呈いたしました。全国育樹祭では、介添え役など様々な役割を担いました。

b. 岩手県葛巻町立江刈小学校

（岩手県岩手郡葛巻町）

令和 5 年 6 月に第 73 回全国植樹祭が開催される岩手県内は葛巻町立江刈小学校で緑のまなび事業を実施いたしました。歴史ある学校林（明治 38 年設置）を核とした教育活動の充実を図り、安全・安心な森林活動が実施できるように学校林の環境整備を行いました。学校林への作業道の整備、入り口のゲート補修、案内板の整備、そして令和 4 年 6 月 4 日（土）に開催された学校育樹祭では、手洗い場・遊歩道・広場にチップ敷設を実施。作業用ヘルメットの備え付けの整備や学校林ゲートの修繕等も順次行いました。

そして、令和 4 年 9 月 9 日（金）には完成記念式典が開催され、ユリノキ、ベニヤマボウシ、ミツバツツジ、サツキ等の記念植樹を児童たちと一緒にいま

した。緑の少年団へユニフォームも贈呈し、少年団としての自覚を持ち、今後の学校林活動や緑化活動、環境保全の取り組みに対する機運を醸成する機会にもなりました。今後の更なる活躍が楽しみです。

4. その他活動

1. ホームページの充実

ゴルファーのみならず、誰からも当会活動への興味、理解が得られるように、また賛同、支援へつながるように、適時ホームページ、フェイスブックの更新、刷新を図りました。

2. ロハスフェスタへの後援

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、今年度も年間を通じ — ロハスフェスタ万博 2022 春（第 35 回）（4 月 22 日-24 日/4 月 29 日-5 月 1 日/5 月 3 日-5 日）、ロハスピクニック尼崎 2022 produced by ロハスフェスタ（第 3 回）（5 月 21 日-22 日）、ロハスフェスタ東京 2022（第 12 回）（9 月 30 日-10 月 2 日）、ロハスフェスタ万博 2022 秋（第 36 回）（11 月 3 日-6 日/11 月 11 日-13 日） — を後援しました。

今回で 35 回目となる「ロハスフェスタ万博 2022 春」は、地球温暖化防止対策に向けた行動を実践することを目的に、3 年ぶりに万博記念公園・東の広場で開催されました。来場者、出展者、協賛企業をはじめ、大阪府危機管理災害対策課や公園管理事務所等の協力を得ながら、感染症対策を最優先に実施。来場者は 175, 182 人、出展数は 751 店にもなり、賑やかにヒト・コト・モノの貴重な出会いの場となりました。

「ロハスピクニック尼崎 produced by ロハスフェスタ」も、3 年ぶりに兵庫県立尼崎の森中央緑地にて開催されました。天候に恵まれ阪神間地域の方々、のべ 13, 300 名が来場されました。「自分にも地球にもやさしい生活スタイル」をテーマに、SDGs 達成を目指すさまざまな取り組みを紹介。また、ロハスなこだわりの手作り雑貨やアクセサリー、体に優しいグルメの販売や、親子で楽しめるワークショップ、ペットとの共生をテーマにした「ロハス ♥ Doggies !」エリア、芝生の上でゆっくり楽しめる屋外ステージなどが展開されました。

ロハスフェスタ東京 2022 も、「みんなの小さなエコを大きなコエに」というテーマを胸に、3 年ぶりの開催となりました。出展者数は過去最多（336 店舗）となり、3 日間天候にも恵まれ多くの来場者（55, 206 人）にお越しいただきました。当会でもロハスフェスタ実行委員会の協力を得、参加型ワークショップ「小枝でつくりよう！フォーク&ナイフ」を実施し、環境意識の向上の一助を担いました。

ロハスフェスタ万博 2022 秋（第 36 回）（於：万博記念公園・東の広場）は、春の第 35 回と同様の目的で開催されました。感染対策を施しながらの運営となりましたが、過去最大の出店者数、766 店舗、そして多くの参加（145, 370 人）があり

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

ました。環境や健康に配慮した手作り雑貨・家具・洋服などの商品展示、販売や食の提供、ワークショップの実施、また、ステージでは演奏やパフォーマンスで大いに盛り上がりました。楽しみながら環境問題を学べるクイズラリーや身近にエコを実践する方法を体験できるイベントブースも大好評でした。

◇ 令和4年度 ロハスフェスタ開催成果

	入場者数	出展数	回収量					
			牛乳パック	ダウン	使用済み天ぷら油	ゴミ	古本回収	紙袋回収
ロハスフェスタ万博2022春 令和4年 4月 22日(金)～24日(日) 4月 29日(金)～5月 1日(日) 5月 3日(火)～5日(木) 於：万博記念公園・東の広場(大阪府吹田市)	175,182 人	751 ブース	120 kg	46 枚	400 L	2,080 kg	272 冊	- 枚
ロハスビクニックproduced by ロハスフェスタ 令和4年 5月 21日(土)～22日(日) 於：尼崎の森中央緑地パーク(兵庫県尼崎市)	13,300 人	107 ブース	105 枚※	- 個	30 L	- kg	26 冊	54 枚
ロハスフェスタ東京2022 令和4年 9月 30日(金)～10月 2日(日) 於：光が丘公園 芝生広場(東京都練馬区)	55,206 人	336 ブース	38 kg	31 個	130 L	730 kg	317 冊	- 枚
ロハスフェスタ万博2022秋 令和4年 11月 3日(木)～6日(日) 11月11日(金)～13日(日) 於：万博記念公園・東の広場(大阪府吹田市)	145,370 人	766 ブース	160 kg	17 個	380 L	3,090 kg	233 冊	- 枚
合 計	389,058 人	1,960 ブース	318 kg	94 個	940 L	5,900 kg	848 冊	54 枚

※ 単位が異なるため合計には加算していません